



b

訪問ガイド 2026

ベルヴェデーレ宮殿

ウィーン・から 23€

<https://belvedere.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



起源 & 歴史

帝国の栄光からモダニズムへ

GOOGLE 4.7 ★★★★★ 89 045 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 4 980 レビュー

ベルヴェデーレ宮殿は、ハプスブルク家の栄光とウィーン・モダニズムの革新が交差する場所です。1714年、神聖ローマ皇帝レオポルト1世の次男であるレオポルト・ヴィルヘルム大公のために建築家ヨハン・ルカス・フォン・ヒルデnbrantzによって建設が始まりました。当初は夏の離宮として計画され、バロック様式の最盛期を象徴する壮大な庭園と共に設計されました。この宮殿は単なる居住空間ではなく、帝国の権威と文化的優位性を示すための政治的な声明でした。

しかし、歴史は曲折に富んでいました。大公の死後、宮殿は軍事的施設や美術学校として利用され、その価値は長らく見落とされていました。19世紀後半、オーストリア政府が宮殿を購入し、国立美術館として再建することを決定したことで、その運命は変わりました。**1891年**の開館以来、ベルヴェデーレはオーストリアの芸術遺産を守る重要な役割を果たしてきました。特に20世紀初頭、ウィーンが世界的な文化の中心地へと変貌していく中で、その重要性はさらに高まりました。

真の転換点は、グスタフ・クリムトの『接吻』が収蔵されたことです。この作品は、ウィーン分離派の美学を体現し、黄金の装飾と象徴的なイメージで世界の人々を魅了しました。ベルヴェデーレは、古典的なバロック建築の中に、最も革新的な現代アートを抱えるという独特の対比を生み出しました。この組み合わせは、訪れる者に時間の流れを感じさせる特別な体験を提供します。

今日、ベルヴェデーレ複合施設は3つの建物から成り立っています。アッパー・ベルヴェデーレには常設コレクションが収められ、クリムトやエゴン・シーレの傑作が展示されています。ローワー・ベルヴェデーレでは大規模な臨時展覧会が開催され、ベルヴェデーレ21は現代アートに特化しています。それぞれ異なる性格を持ちながら、統一された文化的経験を提供し続けるこの複合施設は、ウィーンの芸術的ダイナミズムを象徴しています。

体験

宮殿の重厚な扉を開けると、まず迎えてくれるのはバロックの荘厳さです。豪華な階段を上りながら、天井絵や彫刻が織りなす視覚的ハーモニーに包まれます。光が大理石の床に反射し、空間全体に暖かみを与えます。ここでは、過去の帝国の気品が息づいていることを肌で感じることができます。静寂の中で、自分の足音が響くような集中力が訪れます。

そして、いよいよ『接吻』の前に立つ瞬間。金色の輝きが視界を埋め尽くし、二人の恋人が永遠の抱擁を交わしている姿は、言葉を越えた感情を呼び起こします。周囲の訪問者も一瞬静止し、誰もが同じ美しさの前に跪いているかのようです。この瞬間こそが、ベルヴェデーレを訪れる真の意味であり、ウィーン・モダニズムの心臓部を直接体験できる稀有な機会です。



訪問の準備

実用的な情報

住所

第1区・地下鉄：ブルグリング（U3）またはカーントナーシュトラッセ（U2, U4）、徒歩5分。

営業時間

毎日9時～17時。7月～8月は19時まで延長。予約時に時間帯をご確認ください。

料金

19歳未満は無料。学生・シニア割引あり。オンラインチケット推奨。

所要時間

アッパー・ベルヴェデーレをゆっくり見学し、クリムト『接吻』を含む常設コレクションを慌てず鑑賞するには1時間半～2時間を目安にしてください。

写真撮影

常設展示室ではフラッシュや三脚なしで写真撮影可。静粛を守り、係員が指示する距離を保ってください。

対象客層

アート愛好家やカップルに最適。服装マナー必須：短いショートパンツや裸足は不可。車椅子アクセス対応。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: ヴァイリングアガッセ通り – 9 min à pied

ウィーン、ヴィーネンベルグ駅（電車）（7 min）・ウィーン中央駅（ズートティローラー・プラッツ）（8 min）



バス

: アルジェンティニアーストラッセ通り – 6 min à pied

ウィーン、ウィーン・レンveg駅（電車）（10 min）・ウィーン中央駅（ズートティローラー・プラッツ）（12 min）



車

ウィーン、ウィーン・レンveg駅（電車）（5 min）・ウィーン中央駅（ズートティローラー・プラッツ）（6 min）



自転車

ウィーン、ウィーン・レンveg駅（電車）（5 min）・ウィーン中央駅（ズートティローラー・プラッツ）（6 min）

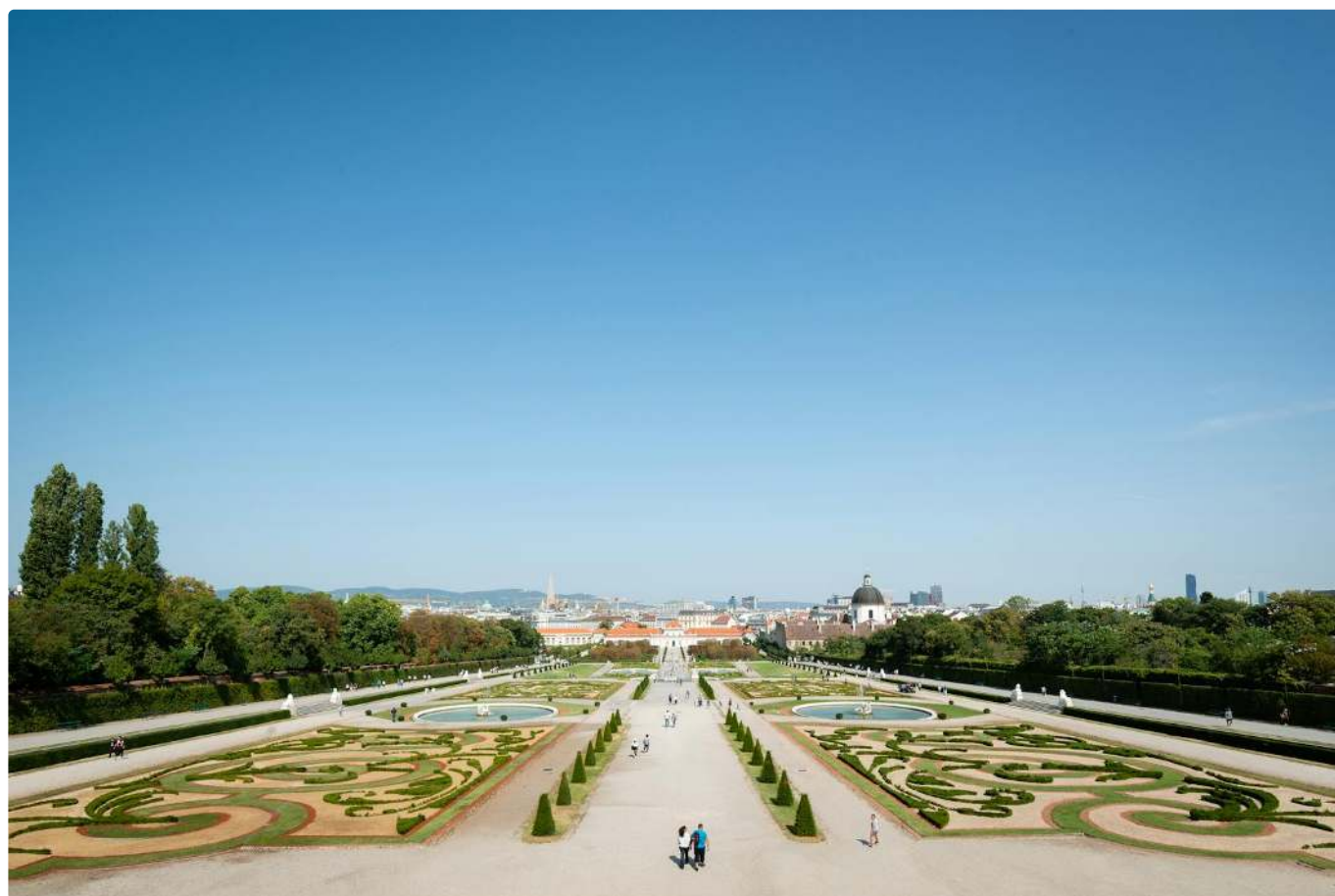
LOCALISATION

Où se trouve ベルヴェデーレ宮殿？



📍 Prinz Eugen-Straße 27 – 1030 ウィーン

🌐 48°11.481' N, 16°22.808' E



組織

3つの宮殿、3つの体験

1階（常設コレクション）

ここがベルヴェデーレの心臓部です。グスタフ・クリムトの『接吻』を含む主要作品が展示されています。広々としたギャラリーでは、金色の時代を代表する作品群をゆっくり鑑賞できます。照明は作品の色合いを引き出すために最適化されており、各キャンバスとの対話を促進します。

2階（エゴン・シーレコレクション）

クリムトの弟子でありライバルでもあったエゴン・シーレの作品が集められています。彼の強烈な色彩と歪んだ形態は、ウィーン・モダニズムのもう一つの顔を示しています。自画像や風景画を通じて、アーティストの内面的葛藤と美的探求に触れることができます。

屋外庭園（バロック庭園）

2つの宮殿をつなぐ壮大な庭園は、見逃せない休息スポットです。段々状のテラスからはウィーン市街の眺望が開け、噴水や彫刻が点在しています。無料でアクセスでき、混雑した展示室からの解放感を得られます。季節により花々が咲き誇り、写真撮影にも最適な環境です。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

エレベーター完備の主要建物へのフルアクセス。急勾配の庭園については事前確認をお勧めします。

ファミリー向け

子供同伴の家族向け。オーディオガイド利用でインタラクティブな見学が可能です。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語

必見スポット

選 択

必見の傑作と隠れた魅力

01 グスタフ・クリムト 1階中央ギャラリー

接吻

ベルヴェデーレの象徴であり、ウィーン・モダニズムの絶対的なアイコンです。金色の箔貼りと幾何学的模様が織りなす世界は、愛と死のテーマを美しく表現しています。男性が女性を抱きしめる姿勢は、保護と献身を象徴し、女性の衣装には円形と楕円形のモチーフが散りばめられています。

💡 この作品は1907年から1908年にかけて制作されました。モデルはクリムトの恋人であったウーデ・フィッシュールだと伝えられており、彼女の表情には深い個人的な感情が込められています。

02 グスタフ・クリムト 1階東側ギャラリー

水辺の葦

クリムトの風景画の傑作であり、自然の神秘を捉えた作品です。湖と葦の反射が描かれたこのキャンバスは、彼の内面的な平和を探究する時期に制作されました。色使いは抑制されており、金色の装飾とは対照的な静謐さが漂います。

💡 この作品は1911年、クリムトが友人の画家ヨーゼフ・ラーベンの家族と一緒に休暇を取っていた際に描かれました。自然の中での瞑想的な時間が、この穏やかな情景を生み出したのです。

03 エゴン・シーレ 2階南側ギャラリー

自画像

シーレの特徴的なスタイルを体現する自己表現の作品です。鋭角的な線と鮮烈な色彩は、アーティストの不安定な精神状態と社会的孤立を反映しています。目線の強さは観客を圧倒し、内面の葛藤を直接的に伝えます。

💡 シーレは生涯で約30点もの自画像を描きました。これらは彼の身体的変化だけでなく、心理的状态の変遷を記録しており、現代心理学の視点からも興味深い研究対象となっています。

04 グスタフ・クリムト 1階西側ギャラリー

死と生

愛と死の二元性を描いた哲学的な作品です。骸骨の死が家族団らんを背後から襲っている様子は、人生の脆さと必然的な終焉を告げます。背景の幾何学的パターンは、運命の不可避性を象徴的に表現しています。

💡 この作品は**1908年**から**1910年**にかけて制作されました。第一次世界大戦前の不安定な社会状況を反映しており、当時の知識人たちの存在的不安を視覚化したものと解釈されています。

05 エゴン・シーレ 2階北側ギャラリー

カッセルの風景

シーレの初期作品であり、伝統的な風景画への挑戦を示しています。歪んだ地形と不自然な色彩配置は、印象派の影響を受けつつも、独自の表現主義的方向性への移行を示唆しています。空の描写には緊張感が宿っています。

💡 この作品は**1909年**、シーレがウィーン分離派の展覧会で注目を集める直前に描かれました。彼のスタイルが成熟する過程における重要な転換点を示す作品として評価されています。

06 グスタフ・クリムト 1階南東ギャラリー

希望III

母親と子供を描いた温かいテーマの作品です。金色の装飾が慈愛の感情を包み込み、母性の普遍性と美しさを称賛しています。構図は安定しており、視覚的な調和が達成されています。

💡 このシリーズは**1907年**から**1908年**にかけて制作されました。クリムトの姉ゾフィーが精神病院に入れられた後の精神的苦悩の中で、家族への愛を再確認する過程で生まれた作品です。

07 屋外テラス

バロック庭園の眺望

宮殿から望むウィーン市街のパノラマは、それ自体が芸術作品です。歴史的建造物と緑豊かな公園が調和し、都市の美しさを存分に堪能できます。夕暮れ時の光景は特に美しく、写真撮影にも最適です。

💡 庭園は**1720年代**に完成しましたが、その後何度かの改修を経て現在の姿になりました。ユネスコの世界遺産に登録されているのは、その卓越したバロック設計と保存状態の高さによります。

08 フィンセント・ファン・ゴッホ 1階特別展示室

ゴッホの作品

ベルヴェデーレにはゴッホの主要作品も収蔵されています。国際的な文脈の中でウィーン・モダニズムを理解するには不可欠なコレクションです。彼の激しい筆致と色彩感覚は、シーレやクリムトとの比較を通じて新たな意味を持ちます。

💡 ゴッホの作品は**1903年**にオーストリア政府によって購入されました。当時はまだ無名だったアーティストでしたが、今日の価値を考えると驚くべき先見の明があったと言えます。

アドバイス

完璧な訪問のための戦略

TIMING

開館時（9時または10時）に到着してください。10時30分以降、『接吻』への列は非常に長くなります。朝の光がクリムトの金色のキャンバスを完璧に照らすため、視覚的にも最高の条件です。

PARCOURS

アッパー・ベルヴェデーレに直接向かいましょう。下ベルヴェデーレは丘の下にあり、常設コレクションはありません。GPSルートを確認し、入口を間違えないように注意してください。

PAUSE

見学後はシュロスカフェで休憩しましょう。テラスから庭園の景色を楽しみながら、クリムトとシーレについての印象を消化するのに理想的な場所です。伝統的なオーストリア料理もおすすめです。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは強く推奨されます。クリムトの象徴的文脈や隠れたモチーフを理解するために不可欠です。特に『接吻』の物語的な深みを逃さないためにも、音声解説を活用してください。

BILLET

オンラインチケットを必ず予約しましょう。繁忙期には窓口で30分以上待つ可能性があります。QRコードスキャンによる即時入場で、メインギャラリーへのアクセスを保証します。正確な時間枠を選択してください。

PHOTO

フラッシュなしの写真撮影は許可されていますが、三脚は禁止です。屋内が暗い場合は高いISO感度を使用してください。『接吻』の前では、警備員が指示する距離を守り、静粛に撮影してください。

ENFANTS

子供同伴の場合はオーディオガイドを利用すると良いでしょう。インタラクティブな内容で、子供たちも興味深く見学できます。ただし、展示室内では大声を出さないよう指導してください。

CONFORT

快適な閉じた靴を履いてください。庭園は傾斜しており、宮殿の床はハイヒールでは滑りやすい場合があります。服装規定も厳格で、短いショートパンツや裸足は入場拒否の対象となります。



よくある質問

よくある質問

『接吻』を見るためにチケットを予約する必要がありますか？

はい、Upper Belvedereへの入場を保証するために予約を強くお勧めします。これにより、正確な時間枠を選択し、QRコードスキャンを通じて直接アクセスできます。チケットなしの場合、特にピーク時には長い待ち時間を覚悟してください。

チケットには臨時展覧会が含まれていますか？

購入するチケットの種類によります。標準的な「Upper Belvedere」チケットは常設コレクションのみを対象としています。Lower BelvedereとBelvedere 21にもアクセスするには、Gold Passをお選びください。オンラインでお支払いする前に詳細をよく確認してください。

訪問日の何日前までキャンセルできますか？

ほとんどのオンラインチケットでは、訪問日の24時間前まで無料キャンセルが可能です。確認時にチケットの特定の条件をご確認ください。この柔軟性は、計画が突然変わった場合に役立ちます。

現在プロモーションはありますか？

19歳未満（無料）、学生、シニア向けの割引があります。グループオファーも時折あります。ウィーンに長く滞在する場合は、季節限定のプロモーションや年間パスについては公式サイトをチェックしてください。

クリムトの『接吻』は正確にどこにありますか？

『接吻』は、Upper Belvedere（ホーフブルグ）の1階にある常設コレクションにのみ展示されています。この作品のためにLower BelvedereやBelvedere 21に行かないでください。観光客の間でよくある混乱ですので、ルートを必ず確認してください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

3つの宮殿、1つの歴史

ベルヴェデーレ複合施設は3つの異なる建築実体に分かれています。アッパー・ベルヴェデーレは常設コレクション、ローワー・ベルヴェデーレは臨時展覧会、ベルヴェデーレ21は現代アートに特化しています。これらは独立した施設ですが、統合された文化的経験を提供します。

変貌した帝国宮殿

当初レオポルト・ヴィルヘルム大公のために建設された宮殿は、世紀を通じて進化してきました。軍事施設から美術学校、そして国立美術館へと役割を変え、今日ではハプスブルク帝国と20世紀初頭のウィーンの芸術的前衛との間の移行を体現しています。

シール対クリムト

常設コレクションはクリムトとシーレのスタイルを並置し、驚くべきコントラストを提供しています。金の装飾が粗野で感情的な表現主義と出会うことで、ウィーン・モダニズムの多様性が浮き彫りにされます。この対比は理解を深める鍵です。

戦略的なオンライン予約

オンラインチケットによる直接アクセスにより、物理的なチケット窓口での列をスキップできます。このダイレクトアクセスはピーク時に不可欠であり、太陽の下で待つことなく上ベルヴェデーレへのスムーズな入場を保証します。計画の柔軟性も確保されます。

博物館周辺

ベルヴェデーレ周辺は、ウィーン史の核心部に位置しています。すぐ下にあるホーフブルク宮殿は、ハプスブルク家の本邸であり、シシー博物館や皇帝の御所を見学できます。徒歩5分以内でアクセス可能なので、一日のスケジュールに組み込むのが理想的です。また、宮殿のカフェシュロスカフェ ベルヴェデーレでは、バロック庭園を眺めながら伝統的なザッハトルテを楽しむことができます。庭園自体もユネスコ登録されており、フランス式整形形式庭園とイギリス式自然主義庭園が調和しています。午後遅くの散歩には最適で、ウィーン市内のパノラマビューも楽しめます。近くにはレオポルト美術館もあり、表現主義作品に興味がある方は足を延ばす価値があります。



ベルヴェデーレ宮殿は、単なる美術館ではありません。時間を超える愛と芸術の対話場です。クリムトの金色の世界に触れ、シーレの情熱的な筆致を感じ、バロック庭園の風を浴びることで、あなたの心には忘れられない記憶が刻まれるでしょう。ウィーンの魂に触れる旅を、ぜひご自身で体験してください。